

発 言 者	発 言 内 容 (開会 午後1時30分)
課 長	あいさつ 本日の会議について、3委員は欠席となります。 委嘱状交付:大口町高齢者サービス調整会議設置条例第3条に基づき、大口町社会福祉協議会の会長に委嘱状を机上交付させていただきました。なお、委員の期間は前任の残任期間となります。
副 委 員 長	社会福祉協議会の会長となりました。よろしくお願いします。
課 長	資料確認 議題に入る。議会進行は、高齢者サービス調整会議設置条例により、委員長に議長をお願いする。
委 員 長	開会挨拶 議題(1)大口町第8期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画策定に係る高齢者等実態調査の実施について、事務局より説明をお願いする。
事 務 局	議題(1)①策定スケジュール(案)について資料説明。(資料No.1) 2月までには調査結果の概要版、3月までには完成版を報告したい。令和2年2月に高齢者サービス調整会議を開催させていただき、地域包括支援センターの運営方針、居宅介護支援事業所の指定更新等について協議していただき、3月に調査結果概要版についてご審議いただきたい。 大口町高齢者ほほえみ計画策定のための高齢者等実態調査の概要(調査の目的、調査の種類と方法、調査票の設計方針、各調査票の要点と追加項目)について説明。
委 員 長	7期の計画時と比べて外出支援サービス、フレイル、ACP(人生会議)のこと等も追加項目となっている。
学 識 経 験 者	全般的に、人生会議の現状に関すること、権利擁護に関する成年後見制度の項目が加わっていることは良いと思う。大口町の住民の方にはいろんな考え方を啓発するという視点と、権利擁護に関しても、いまは関係と思っている方にも現に触れる機会があることは先進的な項目が入っていると思う。
事 務 局	議題(1)②高齢者等実態調査 ア 「65歳以上の方用」について、前回からの国、町からの追加質問項目等について説明。(資料No.2) 500人を対象とし郵送による配布・回収となる。
部 長	問32について、減少が先に出ているので、増えるということもあるので、体重の変化はありましたかでしょうか。
学 識 経 験 者	問51について、急性疾患は身体もあるように見える。急性疾患の前に「精神的な」を加えた方が良い。

健康推進員連絡会代表	調査の男女の割合はどうなるのか。
事務局	男女問わず、無作為抽出をさせていただく予定です。
高齢者福祉協力員代表	毎月、15名の高齢者福祉協力員で在宅介護者を訪問しており、悩み事を聞いている。定例会後に困った事例があれば情報交換している。定例会で資料を配りみなさんがどう感じるか意見を聞きたい。
事務局	議題(1)②高齢者等実態調査 イ「ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯の方用」について、前回からの国、町からの追加質問項目等について説明。(資料No.3) ひとり暮らし高齢者が550人、高齢者世帯が230人であり、民生委員による配布・回収となる。91設問中25問が町からの新たな追加質問が含まれている。問37については、「体重の変化はありましたか」に、問56については、「精神的な急性疾患」に修正する。
老人クラブ連合会代表	75歳以上の世帯は全員が対象なのか。
事務局	封筒に名前を入れさせていただいているので、夫婦で暮らしているどちらかの名前の方が答えていただく。
老人クラブ連合会代表	問89でひとり暮らしだと家族はいないので話し合ったりできない。
事務局	家族とは身内の方という意味なので、表現を検討する。
老人クラブ連合会代表	75歳以上世帯は民生委員が見守っている方か、全世帯というのは近くに身内が住んでいる方も対象か。
事務局	民生委員の協力をいただいての調査となるので、民生委員が見守っている方が対象となる。今年は民生委員の改選期なので、丁寧に説明をしていく。
部長	問15について、回答の順番が否定的な並びなので、逆の順番の方が肯定的な設問にならないか。
事務局	厚労省からの指示事項であり、他の設問でも高齢者＝「歩けない」であったり、転倒しやすいといった回答を引き出したいような内容であるので、他の設問と併せて、直すように検討していきたい。
部長	問86について、「最期を過ごしたい」という表現は最期の瞬間という感じがし、違和感があるので、問87のように「最期を迎えられる」という表現が良い。
事務局	「最期を迎えられる」という表現にする。
事務局	議題(1)②高齢者等実態調査 ウ「在宅で要支援認定を受けている方用」について、前回からの国、町からの追加質問項目等について説明。(資料No.4) 全数として150人を地域包括支援センターの職員による調査・回収となる。94設問中23問が新たな追加項目となる。

尾北歯科 医師会代表	オーラルフレイルに関する設問が増えている。65歳以上の方から聞くには良い設問だと思う。
介護サービス 利用介護者代表	一人ひとりの状態は違うので、設問に対して受け取り方、感じ方が違うと回答に個人差が出ると思うので、集計結果をどう活かしていくことができるかと思う。
事務局	議題(1)②高齢者等実態調査 エ 「在宅で要介護認定を受けている方用」について、前回からの国、町からの追加質問項目等について説明。(資料No.5) 全数として350人を対象に、高齢者福祉協力員の協力による聞き取り・回収となる。77設問中、24問が新たな追加となる。
介護サービス 利用介護者代表	食事の設問に対して、ちゃんと伝わるかなど、認知がある者に対しては内容が適切ではないなと思った。 ホームドクターを持つことのメリットを教えてほしい。
尾北医師会 代表	高齢化社会の中で、病院にかかることが多いと思うが、病院と開業医の差別化というか大きな病院に直接行けないようなシステムを作らないと病院が混雑して急性期医療に耐えられない状況になってくる。私たちの役割は普段、診ているかどうかに関わらず、病院じゃなければできないことかの見極めで、ドクターから見て急性期の病院にかかる状態でなくても患者、家族の不安があるようであれば連絡できるような医者であることである。普段の健康状態を診ていくのがかかりつけ医であるが、いつも通ってなければならないということではない。
介護サービス 利用介護者代表	自分のところはかかりつけ医ではなく大きな病院に通っているので、インフルエンザの予防接種はかかりつけ医の人が優先なのか。昨年はどこに電話しても断られた。
尾北医師会 代表	昨年はワクチンが不足し、どこの病院でも足りなかった。普段かかっている方でも接種できなかった人もいる。かかりつけ医ではないから断られたということではなく、多くのところが電話での予約は早い方からとなっている。
事務局	議題(1)②高齢者等実態調査 オ 「介護支援専門員等実態調査」について、前回からの追加質問項目等について説明。(資料No.6) 町内6事業所、地域包括支援センターのケアマネジャー27人を対象に実施する。27設問中、3問が新たな追加となる。
介護支援専門員 連絡会議代表	アドバンスケアプランニングについてかなり言われだしてきており、研修に参加し、家族にどのようにこの内容を説明していくかというところが始まってきている中でこの設問が入っているので良いと思う。問25についてフ

	リーでの記述式は回答しにくいので、選択肢があると答えやすい。
町内高齢者施設 代 表	要介護認定者の率直な意見を拾い上げることができるので、今後地域で提供していかなければならないサービスのニーズやヒントがつまっていると思う。アンケートだけで終わらすことなく、どうやって還元できるか調査の結果を見ながらみなさんと検討していきたい。
学 識 経 験 者	調査は計画につながるものであり、大口町の方向性、意向が出ていると思う。要介護認定者の通所サービスの食事補助の設問についても意向があるのかなと感じた。
事 務 局	通所サービスの食事の補助については、市町村特別給付につながるものであり、制度の拡充を検討するにあたり、一人での食事ではなく施設での食事の時間を大切にしているとか、栄養面でも施設で食事することで助かっているなどの意見や、一部介護保険料で賄っているが、いまのままで良いのか、介護保険料が上がっても助成内容を充実させたいのかを聞いてみたい。
副 委 員 長	今後、高齢者サービスの取り組みを考えるにあたって65歳からの調査ではなく、60歳くらいから気を付けていれば予防できることもあるので取り組みの仕方は考えていくべき。一人ひとりサービスに対する想いは違うかもしれないが、ニーズを把握することで未来志向に向かってサービスに対する考え方を変えていく何かが出てくるかもしれない。枠の中だけでなく、枠の外の意見を取り入れると良い。
地域包括支援 セ ン タ ー	(2)その他 委託先別請求実績について報告
事 務 局	次回の高齢者サービス調整会議を令和2年2月28日(金)に開催したい。第4回会議を3月末ごろに予定したい。
委 員 長	閉会挨拶 (閉会 15時05分)